

西暦 2025 年 7 月 28 日

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報の公開について

当センターでは、下記の研究を実施しております。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、研究対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、情報を公開することにより実施しております。この研究に関するお問い合わせ、研究参加への拒否依頼などがありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

研究機関名	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター
研究課題名	小眼球症・無眼球症に対する拡張器治療の開始時期と眼窩容積成長の関係に関する後ろ向き縦断研究
研究代表者 氏名・所属部署	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 形成外科 白石 万紀子
研究対象者 (研究対象者等が自身が対象者であると容易に知り得るように記載)	2009 年以降に当科にて拡張器治療を受けた小眼球症・無眼球症患者。
研究期間	研究実施許可後～2027 年 3 月
研究目的・方法 (意義、目的、方法、試料等の二次利用等)	【研究の意義】 小眼球症に対する拡張器治療は、乳児期からの可及的早期の介入が推奨されているものの、眼窩の成長に対する明確な効果を定量的に示す報告は限られている。本研究では、拡張器の治療が眼窩容積の成長に与える影響を明らかにし、治療意義や適切な治療介入の時期に関する知見を提供することで、今後の治療指針の確立に貢献することを目的とする。 【研究の目的】 拡張器治療を受けた小眼球症・無眼球症患者の眼窩容積の成長経過を縦断的に解析し、治療開始時期が眼窩容積の成長に与える影響や性別、片側 or 両側罹患の違いによる成長パターンの差異などを明らかにする。 【研究方法】 上記対象者の治療評価目的で撮影された頭部 CT 画像をもとに、眼窩容積を計測し、年齢別の眼窩容積の変化を評価し、治療開始時期ごとの成長パターンを比較する。片側・両側罹患、性別による傾向もあわせて検討する。 【試料・情報等の二次利用について】 本研究では、既に医療目的で取得された頭部 CT 画像およびカルテ情報を使用する。

	本研究の成果は学会発表や学術論文として公表予定であるが、個人が特定される情報は一切含まれない。 将来、今回の研究を基に新たな研究を行う場合、改めて倫理審査申請を行う。
研究に用いられる試料・情報の項目や種類	診療録の情報、CT 検査における眼窩容積の計測値などを使用する。 個人が特定できる情報は匿名化して扱う。
研究計画書などの研究関連資料の入手方法、または閲覧方法	本研究の研究対象者(等)が、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手または閲覧をご希望される場合、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲で入手、または閲覧ができます。下記の問合せ先までご連絡ください。
個人情報の開示に係る手続き	本研究の研究対象者(等)から、個人情報の開示の求めがあった場合、保有する個人情報のうちその本人に関するものに限って、地方独立行政法人大阪府立病院機構 個人情報の取扱及び管理に関する規程に基づいて、開示手続きをとりますので、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。
照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター 形成外科 白石万紀子 電話 0725-56-1220 (代表)